

平成22年度 第4学年編入学

学生募集要項

願書受付期間 平成21年7月27日（月）～平成21年7月31日（金）

試 験 日 平成21年8月28日（金）

合 格 発 表 平成21年9月 4日（金）

独立行政法人 国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

〒940-8532

新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校学生課教務・入試グループ

Tel：0258-34-9434、9331

Fax：0258-34-9339

E-mail：kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ：http://www.nagaoka-ct.ac.jp/

本校のアドミッションポリシー

長岡工業高等専門学校では、次のような人が入学し、技術者を目指して学習してくれることを期待しています。

- 1 科学、工学の基礎を確実に修得している人
- 2 知的な好奇心が旺盛で、科学技術の分野で創造力を発揮したいと考えている人
- 3 人類の福祉や地球の環境に関心があり、よりよい未来の構築に寄与したいと思っている人
- 4 コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍したいと考えている人

長岡工業高等専門学校では、アドミッションポリシーに基づき、第4学年への編入学を希望する人のために、次のような入学者選抜を行います。

- (1) 第4学年編入学選抜（調査書と学力検査及び面接の結果に基づいて選抜します。）
- (2) 第4学年編入学選抜（帰国子女特別選抜）（成績証明書等と学力検査及び面接の結果に基づいて選抜します。）

第4学年編入学選抜（帰国子女特別選抜）の募集要項は、別途作成します。

目 次

I 編入学を実施する学科（コース）、募集人員及び編入学年	1
II 選抜方法	1
III 注意事項	4
IV 本校の教育理念と学習・教育目標	6
V 編入学案内	8
VI 技術者教育プログラム	10
VII 個人情報の取扱いについて	10
VIII 平成23年度第4学年編入学選抜及び第4学年編入学選抜(帰国子女特別選抜)について	11
【参 考】	
試験会場案内図	巻末

本要項に添付されている出願に必要な本校所定用紙等

- ①第4学年編入学願書・写真票・受験票〔裏面：受験生心得〕
- ②検定料振込依頼書・受取書・検定料振込済証明書
- ③検定料振込済証明書貼付票

I 編入学を実施する学科（コース）、募集人員及び編入学年

学 科	募集人員	編入学年
機械工学科	若干名	第 4 学年
電気電子システム工学科	若干名	
電子制御工学科	若干名	
物質工学科		
材料工学コース	若干名	
生物応用コース	若干名	
環境都市工学科	若干名	

II 選抜方法

1. 出願資格

第4学年編入学学生選抜に出願できるのは、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 高等学校を卒業した者又は平成22年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第150条に該当する者）

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成21年7月27日（月）～7月31日（金）必着

受付時間は9時から17時までとし、郵送の場合は、7月31日（金）17時必着とします。

郵送の場合は、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きし、書留・速達郵便で送ってください。

(2) 出願書類

次の表に示した書類を提出してください。

出願書類が受理された入学志願者には、「受験票」を送付します。

出願書類一覧

①編入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
②写真票	本校所定の用紙に写真を貼り、必要事項を記入してください。
③受験票	本校所定の用紙に写真を貼り、必要事項を記入してください。
④調査書	出身高等学校長が作成し、厳封したもの。
⑤入学検定料 検定料振込済証明書貼付票 (本校所定の検定料振込依頼書で振込む)	16,500円 本校所定の検定料振込依頼書により、平成21年7月21日(火)～平成21年7月31日(金)の間に金融機関（ゆうちょ銀行は除く。）に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
⑥受験票送付用封筒	長形3号（120mm×235mm）を使用し、本人の住所・氏名・郵便番号を明記して、380円切手を貼付してください。受験票等の送付（簡易書留）に使用します。

(3) 出願書類等の送付及び問い合わせ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課教務・入試グループ

TEL：0258-34-9434・9331 FAX：0258-34-9339

3. 出願手続に関する留意事項

- (1) 志望学科は、本校の5つの学科（機械工学科・電気電子システム工学科・電子制御工学科・物質工学科・環境都市工学科）の中から、ひとつの学科を選んで記入してください。ただし、物質工学科は、材料工学コースと生物応用コースの2つのコースがありますので、第一志望とするコースを選択してください。第二志望まで認めます。

※志望学科の選択にあたっては、興味・関心だけでなく、目的意識、適性及びこれまでの科目履修状況等から十分に検討してください。

- (2) 入学願書が受理された後に、志望学科、コースを変更することはできません。

- (3) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

4. 選抜方法等

(1) 選抜方法

選抜は、以下の3つの資料に基づいて、総合的に審査して行います。

- ① 調査書の内容
- ② 学力検査の成績
- ③ 本校が課す「面接」の結果

調査書と学力検査・面接の配分は下表のとおりです。

調査書	学 力 検 査			面 接
	数 学	英 語	専門科目	
50	50	50	100	10

(2) 学力検査及び面接

- ① 日 時：平成21年8月28日（金）9時00分～
- ② 試験会場：長岡工業高等専門学校
- ③ 学力検査科目及び出題範囲

ア. 共通科目

志望学科	検査科目	検査時間	出 題 範 囲
全学科	数学 英語	2科目で80分	数学A（平面図形を除く）、数学Ⅰ、数学Ⅱ、 英語Ⅰ、英語Ⅱ

イ. 専門科目

志望学科	検査科目		検査時間	出題範囲	
機械工学科	A	物 理	80分	物理Ⅰ、物理Ⅱ（「力と運動」と「電気と磁気」のみ）	AかBのいずれかを選択
	B	機械設計 機械工作		機械設計、機械工作（「生産の管理」を除く）	
電気電子システム工学科	A	物 理	80分	物理Ⅰ、物理Ⅱ（「力と運動」と「電気と磁気」のみ）	AかBのいずれかを選択
	B	電気基礎		電気基礎	
電子制御工学科	A	物 理	80分	物理Ⅰ、物理Ⅱ（「力と運動」と「電気と磁気」のみ）	AかBのいずれかを選択
	B	電気基礎		電気基礎	
物質工学科	A	化 学	80分	化学Ⅰ、化学Ⅱ	A, B, Cのうちから1つを選択
	B	化 学 生 物		化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物Ⅰ	
	C	工業化学		工業化学	
環境都市工学科	A	理 科	80分	物理Ⅰ、化学Ⅰ	AかBのいずれかを選択
	B	土木基礎力学		土木基礎力学	

注) 専門科目は、検査時に選択してください。

④ 試験中に使用できる物

ア. 筆記用具（黒の鉛筆又はシャープペンシル）

イ. 消しゴム

ウ. 鉛筆削り

⑤ 面接

1人10分程度の個人面接を実施します。

⑥ 時間割

検 査 等		時 間
受 付		8 : 2 0 ~ 8 : 4 0
1	共通科目（数学・英語）	9 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0
2	専門科目	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0
面 接		1 3 : 0 0 ~

※昼食は、学生食堂を利用することができます。持参しても構いません。

なお、受験を取りやめた場合は、必ず学生課教務・入試グループ（表紙に記載）へ連絡してください。

5. 合格発表

- (1) 日 時：平成21年9月4日（金）午前10時
- (2) 場 所：長岡工業高等専門学校 4号館玄関前
- (3) 発表方法：合格者の「受験番号」を学科別に発表します。

選抜の結果は、本人宛に文書で通知します。また、合格者の「受験番号」を本校のホームページ<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>に掲載します。

電話等による問い合わせには、一切応じません。

なお、原則として在籍高等学校長宛に、受験番号、氏名、合否結果及び合格学科名を文書により通知することとしていますが、この通知に同意できない場合は、その旨「編入学願書」の所定の欄に記入してください。

6. 入学確約書の提出

合格者には、合格通知書と併せて「入学確約書」の用紙を送付しますので、必要事項を記入のうえ、平成21年9月30日（水）（必着）までに長岡工業高等専門学校学生課教務・入試グループへ提出してください。

期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意志がないものとして扱います。

なお、入学手続き等については、「入学確約書」を提出した者に対し、後日（平成22年2月下旬）連絡致します。

Ⅲ 注意事項

1. 編入学願書等

- (1) 記入の誤りや漏れがある編入学願書は受理できません。
- (2) 受理した出願書類は返却できません。
- (3) 振込済の検定料は次の場合を除き返却できません。
 - ① 払い込んだが出願しなかった（受理されなかった）場合
 - ② 二重に払い込んだ場合

2. 受験生心得

受験票の裏面に「受験生心得」が記載してあります。受験の前によく読んでおいてください。

3. 駐車場

駐停車場所の確保が困難なため、受験生を自家用車で送迎することは避け、バスなどの公共交通機関を利用してください。

4. 上履き

上履きは必要ありません。

5. 宿泊施設

受験のための宿泊施設の提供やあっせんは行いませんので、必要な人は各自で確保してください。

6. 身体に障がいがある者あるいは発達障害者支援法で規定する障がいがある者が出願する場合について

本校に入学を志願する者で、身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障がいの程度）がある、あるいは発達障害者支援法で規定する障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮が必要な場合は、事前相談書（様式任意）に次の内容を記載し、平成21年7月21日

(火) までに本校学生課教務・入試グループに申し出てください。身体障がい程度が身体障害者手帳の等級で1～2級である場合は、上記期限に関わらず、できるだけ早めにご相談ください。ただし、申し出の内容によっては、受験日までに対応できず、特別な措置が講じられないことがあります。

- ① 志望学科
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験上、修学上特別な配慮を希望する事項
- ④ 出身学校等でとられていた措置
- ⑤ 日常生活の状況 等

※事前相談書には、医師による診断書あるいは身体障害者手帳の写しを添付してください。

[参考] 学校教育法施行令第22条の3 (抜粋)

区分	身体障がいの程度
視覚障がい者	両眼の視力が概ね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障がい高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい者	両耳の聴力レベルが概ね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は著しく困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

Ⅳ 本校の教育理念と学習・教育目標

本校では、以下の表に示す教育理念と学習教育目標を掲げて、教育活動を行っています。
受験に当たっては、ここに示す内容を十分にご理解ください。

教育理念：人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

☐ 教育目標 ☐ 学習・教育目標

準学士課程の教育目標と学習・教育目標
(A) 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成
(a1) 人文・社会科学に関する基礎知識を学習し理解すること。
(a2) 工業技術と社会、自然環境の係わりについて学習し理解すること。
(a3) 技術者として備えるべき社会的倫理を学習し理解すること。
(B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
(b1) 日本文化についての知識を身につけるとともに多様な国際文化を理解すること。
(b2) 日本語による卒業研究や実験実習の報告書の作成及び発表・討論ができること。
(b3) 多様な国際文化を理解し、英語による基本的コミュニケーション能力を身につけること。
(C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
(c1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する基本的な問題が解けること。
(c2) 工学の基礎知識が実際の技術分野でどのように係わっているかについて学習し理解すること。
(D) 工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成
(d1) 専門工学の基礎事項について学習し、基本的な問題が解けること。
(d2) 専門分野の問題解決に必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールについて学習し理解すること。
(d3) 実験実習を通してものづくりの基礎知識と技能を身につけること。
(d4) 実験報告書作成を通して、情報技術の習得及び情報検索能力を身につけること。
(E) 多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
(e1) 特定の専門科目だけでなく境界分野科目についても学習し理解すること。
(e2) 与えられた課題に対して、解決するために必要な事柄に対する知識と解決手法を身につけること。
(F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
(f1) 企業等での実習体験を通して、技術者としての心構えや必要とされる技術的知識を理解すること。
(f2) 体験報告書を通して、社会に役立つ技術者として備えるべき能力について考察できること。
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成
(g1) 工学的課題について、必要な情報や資料等を自発的に収集する能力を身につけること。
(g2) 与えられた技術的課題の解決を通して、さらに幅広い技術的知識を得る能力を身につけること。

専攻科課程の教育目標と学習・教育目標
(A) 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成
(A1) 人文・社会科学に関する基礎的な事項について説明できること。
(A2) 工業技術が社会、自然環境や人間に及ぼしている影響について、例を示し説明できること。
(A3) 工業技術が地球環境に及ぼしている影響について、技術者倫理に照らして対応策を提案できること。
(B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
(B1) 論理的な文章が書けること。
(B2) 日本語による科学技術の報告書の作成及び発表・討論ができること。
(B3) 異なる文化的背景を持つ多様な国際文化を理解できること。
(B4) 英語のコミュニケーション能力として基本的な読み取り、聞き取りができること。
(C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
(C1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する発展的な問題が解けること。
(C2) 工学の基礎知識が、技術の分野でどのように応用されているかを説明できること。
(C3) 基礎工学の知識を理解し、それらを用いて基本的な問題が解けること。
(D) 工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成
(D1) 専門工学の知識を理解し、特定の専門分野ごとの代表的な問題を解けること。
(D2) 特定の専門分野の問題解決のために必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールを活用できること。
(D3) ものづくりのために実験・実習で身につけた技術・技能を活用できること。
(D4) 問題を解決するために必要な情報を収集し、解析するための情報技術を使いこなせること。
(E) 多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
(E1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、工学的課題の解決方法を説明できること。
(E2) あらゆる制約（時間、設備、資金、人的・物的資源など）を考慮しながら、課題を解決するための計画を作成できること。
(E3) 異なる技術分野を理解し、自分の得意とする専門分野の知識とあわせて、技術的課題を解決できること。
(F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
(F1) 企業等での実習体験をとおして、地域社会と産業の要求している内容を把握し整理できること。
(F2) 自分が身につけた技術的な知識や能力が、地域社会と産業にどのように活用できるかを説明できること。
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成
(G1) 工学の専門分野における技術的な動向について説明できること。
(G2) 工学的な問題を発見して、その解決に必要な情報や資料を収集し、整理できること。
(G3) 技術的な問題の解決のために、計画して、実施して、その活動を評価し、改善策を提案できること。

V 編入学案内

1. 創立

本校は、国立学校設置法により昭和37年4月に設置されました。

2. 本校の特色

- (1) 充実した施設・設備を持つ国立の高等教育機関
- (2) 実験・実習を重視した5年一貫教育システム
- (3) 自由、自律の校風
- (4) 高い求人倍率と卒業生に対する高い評価
- (5) 大学（第3年次編入）及び高専専攻科への高い進学率

3. 本校の概要

別途配付しています学校案内、または、本校のホームページにてご確認ください。

4. 編入学生の履修

第4学年に編入した学生に対しては、専門科目の講義が理解できるように、第4学年の選択科目の中に、下記の専門基礎科目を開講しています。

学科名	機械工学科	電気電子 システム工学科	電子制御工学科	物質工学科	環境都市工学科
科目名	機械基礎工学	なし	電子制御基礎工学	化学基礎工学Ⅰ※ ¹ 化学基礎工学Ⅱ※ ²	環境都市工学概論

①※¹物質工学科すべての編入生が履修します。

②※²物質工学科編入生のうち、普通高校からの編入生のみ履修します。したがって、普通高校からの編入生は化学基礎工学Ⅰと化学基礎工学Ⅱの2科目を履修することになります。

5. 入学時に必要な諸経費

- (1) 入学料 84,600円
- (2) 授業料 234,600円（年額）
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 教科書、教材費 約23,000円（学科により異なります）
- (4) 後援会費 26,000円（入会金及び年会費）
- (5) 同窓会費 15,000円（入会金）
- (6) 学生会費 9,000円（年額）
- (7) 見学旅行費 約66,000円（学科により異なります）
- (8) 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 1,520円（年額）

注）入学料、授業料については、改定される場合がありますのでご了承ください。

6. 授業料免除制度等

(1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合、入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により納付が著しく困難な場合、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額若しくは半額が免除されます。

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合に本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の納付期限を延長し

ます。

- ① 経済的理由により、所定の期日までに納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、学資負担者が死亡した場合
- ③ 本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、所定の期日までに納付が困難であると認められる場合

(3) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業成績が優秀と認められた場合は、本人の申請により選考のうえ、その期に納付する授業料の全額または半額が免除します。

あるいは学資を主として負担している者が死亡や風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難な場合も適用されます。(申請受付は、学期毎に行います。)

(4) 授業料徴収猶予及び月割分納

特別な事情により、授業料が期日までに納入できない場合、または、一括納入できない理由がある場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、徴収を猶予され、または月額分納することもできます。

7. 奨学金

日本学生支援機構等の奨学制度があり、第一種奨学生(無利子)は、学業優秀で、健康であり、かつ経済的に学資の支弁が困難であると認められた者は選考のうえ、日本学生支援機構に推薦します。日本学生支援機構で審査のうえ、奨学生として採用されます。

なお、第二種奨学生(有利子)は、第一種奨学生よりゆるやかな基準となっており、第4学年以上が対象となります。

(1) 日本学生支援機構の第一種奨学金(無利子)

貸与月額	自宅通学	45,000円
	自宅外通学	51,000円
	通学区分なし	30,000円

(2) 日本学生支援機構の第二種奨学金(有利子)

貸与月額 30,000円、50,000円、80,000円、100,000円のいずれかから選択

8. 卒業後の進路

(1) 就職の状況

本校の卒業生に対し、県内、県外の一流企業から多数の求人があり、創立以来ほぼ100%の就職率を誇っています。

(2) 高等専門学校専攻科への入学

高等専門学校卒業後、高専教育の連続性を保ちながら、さらに高度な知識、技術を志望する者は、修業年限2年間の「専攻科」に進学することができます。この専攻科を修了し、「大学評価・学位授与機構」の行う学修成果の審査及び試験に合格した者には、「大学評価・学位授与機構」から「学士(工学)」の学位が与えられ、大学院への入学資格が得られます。専攻科は、平成21年度現在、全ての国立高専に設置されています。本校専攻科は、平成12年4月に設置されました。

(3) 大学への編入学の状況

① 大学への編入学について

本校を卒業し、より高度な勉学を志す者のために、国公立大学(主として理工系)の第

3 学年への編入学の道が広く開かれており、平成 21 年度卒業生の約 73% が現役で編入学（高専専攻科入学を含む。）しています。もちろん、本校第 4 学年に編入学した学生も、相当数がこれらの大学等に編入学しています。

なお、大学等への編入学に際しては、大学入試センター試験を受ける必要はなく、しかも複数の大学を受験することができます。

② 技術科学大学への編入学について

技術科学大学は、主として高等専門学校卒業生を受け入れるために設置された新構想の工学系大学です。

高等専門学校卒業生は第 3 学年に編入学し、原則として全員が修士課程に進み、さらに希望する者は、博士後期課程へ進学することもできます。現在、長岡技術科学大学（新潟県長岡市）と豊橋技術科学大学（愛知県豊橋市）の 2 つがあります。

Ⅵ 技術者教育プログラム

長岡高専では、平成 16 年 4 月に、日本技術者教育認定機構（JABEE, Japan Accreditation Board for Engineering Education; <http://www.jabee.org/>）の基準に対応するための技術者教育プログラム（生産システム・環境工学プログラム）を設定し、認定を受けています。

この教育プログラムは、本校の学科第 4，5 学年と専攻科第 1，2 学年の 4 年間のカリキュラムで構成されており、4 つの学年に在籍する全ての学生を対象としています。

生産システム・環境工学プログラムについての詳細は、本校のホームページをご覧ください。

(<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyo/251.html>)

卒業後に本校の専攻科に進学する学生は、JABEE 認定プログラムの修了者としての資格を取得するために、次の 3 項目のすべてを満たすことを目標に学習します。

- ① 本校専攻科の修了
- ② 大学評価・学位授与機構からの「学士（工学）」の取得
- ③ JABEE 認定プログラムの修了

Ⅶ 個人情報の取扱いについて

本校では「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 59 号）」に基づき、保有している個人情報について以下のとおり適正に取り扱います。

1. 本校で個人情報を保有するに当たっては、法令の定める業務を遂行するための必要な場合に限ります。
2. 本校が個人情報を取得する場合は、本人に対し利用目的を明らかにして取得します。
3. 本校で保有している個人情報は、厳正な管理下で安全に保管します。
4. 本校が保有する個人情報について、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために自らが利用し、また、第三者に提供することはありません。

なお、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験

成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ. 平成23年度第4学年編入学選抜及び第4学年編入学選抜（帰国子女特別選抜）について

1. 実施時期 平成22年11月頃

第4学年編入学選抜と第4学年編入学選抜（帰国子女特別選抜）は、同じ日に実施する。

2. 変更の概要

- (1) 数学と英語は、別科目として実施する。

数学の出題範囲は、数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学Cとする。英語の出題範囲は、従来どおりとする。

検査時間は、数学80分，英語60分とする。

- (2) 第4学年編入学選抜（帰国子女特別選抜）の検査科目を第4学年編入学選抜と同様に、数学、英語、専門科目の3科目に変更する。検査時間及び出題範囲も第4学年編入学選抜と同じとし、同じ試験問題で受験することとする。また、専門科目の選択についても、第4学年編入学選抜と同様に、受験生の意思によって選択できるものとする。

長岡工業高等専門学校 平成22年度
第4学年編入学願書

受験番号		選抜区分		第4学年編入学		
①志望学科		工学科		第1志望コース 第2志望コース		
本人	ふりがな				男・女	⑥入学した場合 の入寮希望 する・しない ・わからない
	②氏名					
	生年月日	昭和・平成	年	月	日生	
	③現住所	〒				
		電話 () -				
	④出身学校	国・県立 高等学校 科				
		平成	年	月	卒業見込・卒業	
		電話 () -				
	⑤学歴・職歴 ※中学校卒業から記入	平成	年	月	立	中学校卒業
		平成	年	月	立	高等学校入学
平成		年	月			
平成		年	月			
平成		年	月			
⑦保護者連絡先	氏名				本人との続柄	
	現住所	〒				
⑧在籍学校長等通知同意		在籍学校長等への合否結果通知に 同意する ・ 同意しない				

- 裏面の「記入上の注意事項」を熟読し、記入してください。
- 受験番号欄以外は全て記入してください。

長岡工業高等専門学校 平成22年度
第4学年編入学写真票

受験番号	
選抜区分	第4学年編入学
①志望学科	工学科
	第1志望コース
	第2志望コース
④出身学校	
ふりがな	
②氏名	

写真貼付
(全体的にのりをつける)

- 無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの
- サイズは、4 cm × 3.5 cm

長岡工業高等専門学校 平成22年度
第4学年編入学受験票

写真貼付
(全体的にのりをつける)

- 無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの
- サイズは、4 cm × 3.5 cm

受験番号		
①志望学科	工学科	
	第1志望コース	
	第2志望コース	
②氏名		
＜学力検査・面接＞		
平成21年 8月28日(金)	数学・英語	9:00~10:20
	専門科目	10:40~12:00
	昼食・休憩	
	面接	13:30~
注 意		
- この受験票は、必ず携帯すること。 - 本票を忘れたとき、または紛失したときは、ただちに学生課教務・入試グループに届け、仮受験票の交付を受けること。 - 裏面の「受験生心得」をよく読んで理解しておくこと。		

切り離さないこと

切り離さないこと

「受験生心得」

1. 試験当日は、8時20分から8時40分までの間に受付を済ませ、検査室に入室してください。
2. 検査室では、受験票と同一番号の席に着き、受験票を右上においてください。
3. 試験中に使用できるもの
 - ・黒鉛筆又はシャープペンシル
 - ・消しゴム
 - ・鉛筆削り
4. 問題は、検査開始5分前に配り始めますが、開始の合図があるまで触れないようにしてください。
5. 遅刻者は、検査開始後20分まで入室を認めます。
6. 不正行為のあった場合は、退室を命じられ、全科目の検査を無効とします。

編入学願書・写真票・受験票の記入上の注意事項

1. 本人が、記入してください。
2. 黒または、青のボールペン（万年筆）で、はっきりと書いてください。
3. 『受験番号』欄は、何も書かないでください。
4. 事実を隠したり、偽りを書いたりすると、入学後でも入学を取り消すことがあります。
 - ①『志望学科』欄は、「Ⅱ 3. 出願手続に関する留意事項」を熟読のうえ、記入してください。
 - ②『本人の氏名』欄は、戸籍上の氏名を正確に書いてください。
 - ③『本人の現住所』欄は、志願者本人の現住所を記入してください。
 - ④『出身学校』欄は、出身学校名及び卒業（修了）又は卒業見込（修了見込）年月を記入し、該当のものを○で囲んでください。なお、出身学校の電話番号も記入してください。
 - ⑤『学歴・職歴』欄は、中学校卒業から記入してください。
 - ⑥『入学した場合の入寮希望』欄は、本校に入学した場合、自宅からの通学が困難なため、学生寮への入寮を希望するかどうかについて○で囲んでください。
なお、この欄は、学生寮への入寮希望者数を把握するためのものですので、入学者の選抜には一切関係ありません。
 - ⑦『保護者連絡先』欄は、受験に際して、本人の連絡先以外に緊急連絡がとれる連絡先（携帯電話可）を記入してください。（現住所は本人と異なる場合に記入してください。）
 - ⑧『在籍学校長等通知同意』欄は、可否結果を在籍（出身）高等学校長宛に通知することについての同意を確認するものです。どちらか一方を○で囲んでください。

検定料振込依頼書

※ここから切り離して使用してください

検定料振込済証明書

平成	年	月	日
金額	¥	1	6千500円
振込先行	北越銀行 本店営業部		
受取人	普通	口座番号	1768667
	高専機構本部		
ご依頼人(志願者)	4		
選抜区分	平成22年度 第4学年 編入学生		

〔注意〕
・振込みには必ずこの振込用紙を使用してください。
・本票は、出願期間内に書類に貼り付けし、学校に提出してください。
・本票に、取扱銀行収納印が無い場合は無効です。



(取扱銀行→依頼人→高専)

検定料振込金(兼手数料) 受取書

平成	年	月	日
金額	¥	1	6千500円
振込先行	北越銀行 本店営業部		
受取人	普通	口座番号	1768667
	高専機構本部		
ご依頼人(志願者)	4		
選抜区分	平成22年度 第4学年 編入学生		
手数料(消費税込)			円

上記の金額正に受取りました。

(取扱店)

銀行

支店

(取扱銀行→依頼人)



印紙

取扱銀行へのお願い

(1) 太枠内を打電してください。依頼人の氏名(カナ)を打電する際「4」も含めて入力してください。
(2) 収入印は1・2・3にもれなく正確に押印し、1・2各票は依頼人にお返しください。
(3) 金額の訂正してあるものは受付けないでください。

(銀行切り離し)

電信扱

振込依頼書

依頼日	平成	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料			円
振込先銀行	北越銀行 本店営業部					金額	¥	1	6千500円	
受取人	普通預金	口座番号	1768667			内訳	現金			
	当手枚	他手枚								
	高専機構本部	10,000円	0,000円	10円						
		5,000	000	5						
		1,000	000	1						
500		00								
氏名(カナ)	4					金種内訳	100	00	合計	
	50	0	つり銭							
氏名(漢字)						ご依頼人(志願者)				
(住所) 〒										
Tel						取扱銀行保管				

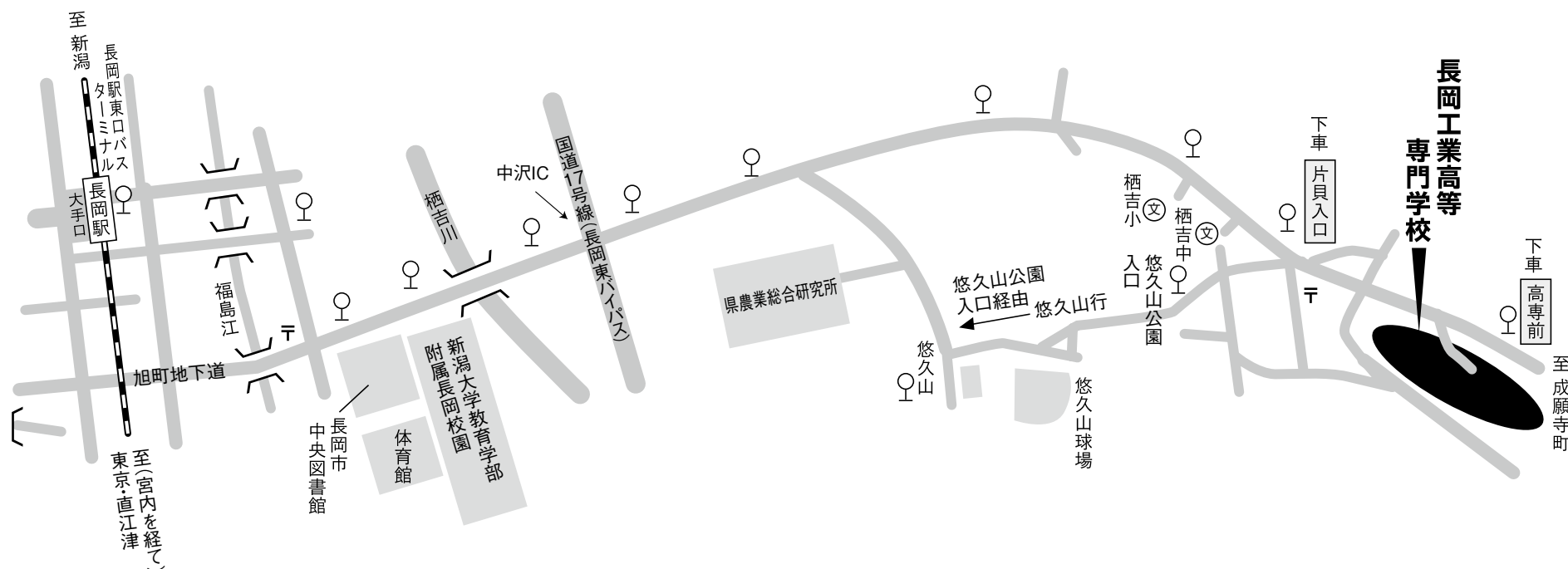
検定料振込済証明書貼付票

枠の中に、取扱銀行収納印のある「検定料振込済証明書」を貼り付けてください。

※本人保管用の「受取書」は貼り付けしないでください。

ここに検定料振込済証明書を貼ってください。

長岡工業高等専門学校 位置及び交通案内



☆ 学校所在地

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

電話 (0258) 3 2 - 6 4 3 5 (代表)

☆ 交通案内

① J R 長岡駅東口バスターミナル1番、2番

(1) 「悠久山(悠久山公園入口経由)」行(15分～20分間隔)

(2) 「成願寺(悠久山経由)」行(1日5～6往復)

② J R 長岡駅東口からタクシー 約10分

片貝入口下車 徒歩約7分

高専前下車 徒歩約2分